

渡辺治の

東京学習会議主催
東京労働学校
第128期

現代政治講座



現代日本社会は歴史的な岐路にさしかかっています。その歴史的背景と転換の質をつかむことは、いま運動に何が求められているかを考えるさいに極めて重要です。この講座では、大企業支配の確立期にまでさかのぼり、日本社会を襲う激震の震源地「新自由主義改革と軍事大国化」の推進力と矛盾を構造的に明らかにすると同時に、トータルな対抗構想と国民的共同の現代的条件を共有し、労働運動・社会運動の課題と展望を考えます。

----- 切り取り -----

2015年 東京労働学校 第128期 受講申込書 年 月 日

氏名		男・女	年齢	才
住所	〒			
電話	自宅：	携帯：		
E-mai				
申込内容	①現代政治講座 ②現代労働組合論講座 ③基礎経済教室			
労組・団体名：	会費受領日 月 日 / 受領者名			

※②現代労働組合論講座、③基礎経済教室については裏面をご覧ください

日程 4月7日～4月28日【毎週火曜日】 午後7時～9時
会場 東京労働会館7階「ラパスホール」
会費 全4回で6,000円（聴講は1回2,000円）

4月	回	内容
7日 (火)	第1回	企業社会・自民党政治と労働運動 労働者の働き方や生活を丸ごと企業の利潤追求に従属させる仕組み、先進国には例を見ない自民党一党政権は、どのようにつくられたのか。日本社会の特異な相貌をうんだ企業社会の最奥の根拠にせまる。
14日 (火)	第2回	新自由主義と軍事大国化による政治・社会の再編 憲法9条・25条を空洞化させる「構造改革」と軍事大国化。それが企業社会と自民党政治をどう変えたのか。その歴史的背景、政官財の推進動機、対抗運動の攻防をつかむ。
21日 (火)	第3回	第2次安倍政権論 第2次安倍政権を、軍事大国化と新自由主義改革の新段階に引き上げる政権という角度から分析し、その特異性と内部矛盾を徹底解剖する。あわせて、総選挙後の新たな展開にふれる。
28日 (火)	第4回	平和と福祉の対抗構想と運動の課題 軍事大国化・新自由主義改革との対決軸を明らかにし、平和と福祉を焦点に対抗構想と運動の課題を考える。

※タイトル・内容は変更する場合があります。

- ◎受講のお申し込みは、申込書にご記入のうえ、東京学習会議までFAXしてください。メールでのお申し込みも受け付けます。
- ◎団体としてお申し込みの場合は、「氏名」欄に団体名をご記入ください。

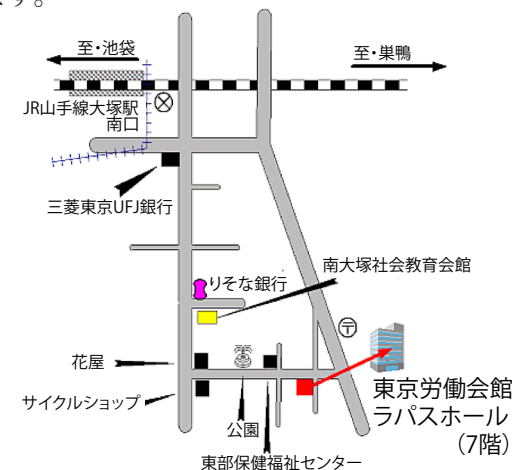
【申込み・問合わせ】

東京学習会議

TEL：03-5842-5646

FAX：03-5842-5647

E-mail：gakusyukaigi@gmail.com



現代労働組合論講座

東京学習会議主催 東京労働学校 第128期
寺間誠治 コーディネート



大きく改革した東京労働学校の新たなカリキュラムの目玉の一つ！全労連結成以来、理論と実践の先頭を立てて日本労働運動をけん引してきた寺間誠治氏が、全シリーズをコーディネートする。現代日本の労働運動の第一線で活躍するリーダーらと侃々諤々、世界と日本の労働運動、地域ユニオン運動、労働者の権利と労働の規制緩和について縦横無尽に語る。労働組合のパワーと魅力を明らかにし、わが国労働運動の再生と将来展望を指し示す講座。すべての活動家必見！

5月 【テーマ】

- 12日(火) ① 闘うナショナルセンターとは 〈ゲスト〉小田川義和/屋代眞
～地域の視点からナショナルセンターの役割を考える～
- 19日(火) ② 世界の労働運動から学ぶ 〈ゲスト〉呉学殊/布施恵輔
～海外の労働運動の教訓と国際連帯について考える～
- 26日(火) ③ 働くルールと労働組合 〈ゲスト〉今村幸次郎/森治美
～労働法制の争点と職場の人権について考える～

6月

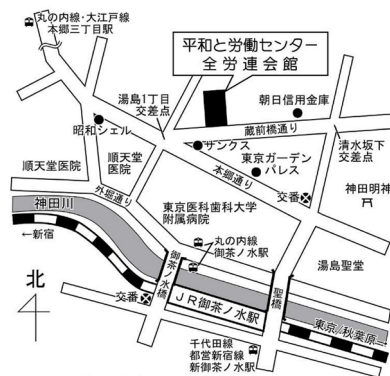
- 2日(火) ④ 労働組合のパワーと魅力
【まとめ】寺間 誠治 (東京学習会議常任理事、元全労連総合政策局長)

【日程】5月12日～6月2日
毎週火曜日 午後7時～9時

【会場】全労連会館3階会議室

【会費】全4回で6,000円
(聴講は1回2,000円)

◎受講のお申し込みは、裏面の申込書にご記入のうえ、東京学習会議までFAXしてください。メールでのお申込みも受け付けます。申込・問い合わせは裏面をご覧ください。



小田川 義和 (おだがわ・よしかず / 全労連議長)

広島法務局に入職し、全法務労組から国公労連書記長、全労連事務局長を経て、本年7月の定期大会で議長就任。地方では、県国公運動や学習運動も経験し、現在、労働者教育協会副会長も務める。政策通で勉強家。事務所では真っ先に電話に出て遅くまで仕事に励む。ビール、ワイン、日本酒も大好き。



屋代 眞 (やしろ・まこと / 新宿区労連事務局長)

18歳で沖電気に入社、1978年に指名解雇され、争議団を結成して解雇撤回闘争を闘う。1986年の解決後、新宿区労連の前身組織に専従として入り、学習を重視する活動スタイルを確立。2000年に未組織労働者の受け皿として新宿一般を立ち上げ、「全ての労働者を視野に入れた労働運動」を地域で展開する、情熱あふれる活動家。



呉学殊 (オウ・ハクス / 労働政策研究・研修機構主任研究員)

地域ユニオンの分析、韓国の労働事情など労使関係論で第一級の研究者。「月刊全労連」や「月刊連合」、学会誌等にユニオンに関する論文を多数発表。混迷するわが国労働組合とナショナルセンターに対し、組織化の秘訣と労働組合の存在意義、非正規労働者問題について緻密な分析と提言を行う。



布施 恵輔 (ふせ・けいすけ / 全労連国際局長)

押しも押されぬめわが国を代表する国際活動家。毎年のILO総会や結社の自由委員会などで彼の姿を見かけないシーンはない。英語、フランス語に長けており、アメリカ、カナダ、ヨーロッパ諸国、アジアなど各国ナショナルセンターの大会などを通じて世界の労働組合活動家と親交をはかる。



今村 幸次郎 (いまむら・こうじろう / 弁護士)

東京生まれ。労働事件を中心に労働者・市民の立場で活動。「温かく、柔らかに」をモットーに京王バス、NTTリストラ、新国立劇場、JAL解雇、葛飾ビラ配布弾圧事件など多くの裁判を担当。『労働ビッグバン～これ以上捨てられていいのか』(共著、新日本出版)、『団体交渉・労働協約～実践、職場と権利シリーズ』(監修、学習の友社)など著書・論文多数。



森 治美 (もり・はるみ / 全労連・全国一般東京地本書記長)

東京生まれ。1981年全国一般加盟・設計事務所職で職場組織結成後、偽装倒産全員解雇となり解雇撤回闘争を闘う。2005年から全労連全国一般東京地本の専従。2006年労働審判制度スタート時から3期6年労働審判員を務める。人形町で30年運営する「人民の家ポロニャ」で時々厨房に立つ。得意料理は天ぷらとナスのピリ辛煮。趣味はテニス。

基礎経済教室

日程：6月13日～7月4日【毎週土曜日】 午後6時～9時

会場：全労連会館3階

会費：全4回で5,000円 (聴講は1回1,500円)

▶かつてないほど過酷な雇用と生活の現状。背景には市場を舞台に利潤を追求する資本主義経済のしくみがある。その本質に迫り、闘いの展望を考える。

6月 【テーマ】

13日(土) ① 賃金、利潤、搾取

【講師】

千葉 光 (東京学習会議労働学校部長)

20日(土) ② 市場メカニズムと「貧困化」

千葉 光

27日(土) ③ 信用経済と不況・恐慌

江口 健志 (東京学習会議常任理事)

7月

4日(土) ④ 現代資本主義の矛盾と打開の展望

江口 健志